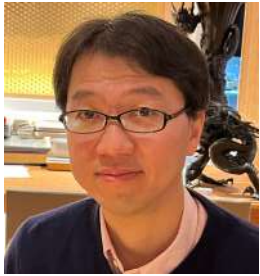


非癌肺オルガノイドを用いた発癌プロセス本態解明と先制医療への応用

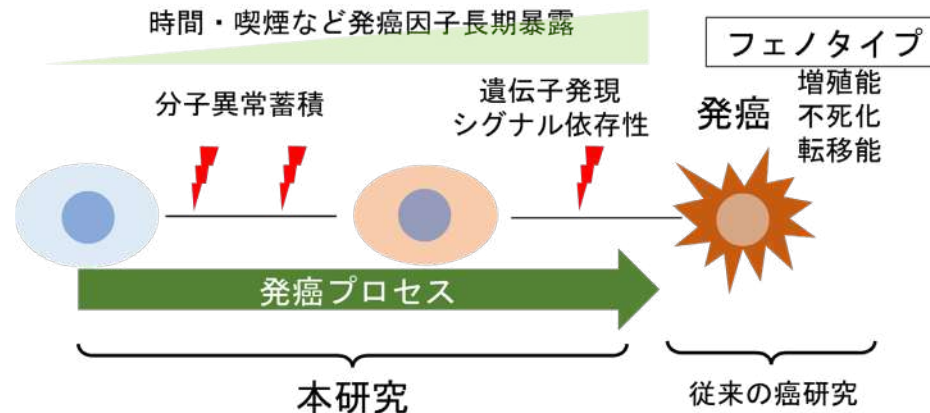
～ 癌細胞と非癌細胞の境界はどこにあるのか ～



ふりがな やすだ ひろゆき
氏 名 : 安田 浩之
所属・部門 : 医学部・呼吸器内科
職 位 : 准教授
専門分野 : 腫瘍生物学、呼吸器内科学

<研究概要>

近年の進歩を遂げた医療をもっても、一旦癌を発症すると多くの患者が癌によって死亡します。癌医療を飛躍的に改善するには、癌発症前の予防や治療介入といった先制医療開発が必要です。そのためには発癌に至る発癌プロセスを分子レベルで理解することが必須です。本研究では、肺癌に注目し、独自の非癌肺細胞オルガノイド培養技術を用いて、年齢や発癌因子暴露によって細胞が分子異常を蓄積し発癌に至るプロセスを分子レベルで理解します。



発癌に至るロードマップを作りたい！

<略歴> 2001年慶應義塾大学卒業。2001年慶應義塾大学医学部内科学教室。2005年慶應義塾大学医学部呼吸器内科。2011年Beth Israel Deaconess Medical Center, Harvard Medical School研究員。2012年慶應義塾大学医学部。現在に至る。